

目標達成計画

作成日: 平成22年10月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昨年度は机上の防災訓練を実施しており、利用者を実際に外に避難させる訓練が実施出来ていない。	利用者、職員が実際に避難をする防災訓練を実施する。(消防署への出席を依頼する)	①訓練の想定を検討する。 ②消防署に出席を依頼する。 ③多くの職員が訓練に参加出来るよう勤務を調整し、防災訓練を実施する。	2ヶ月
2	2	事業所が法人の大きな敷地内の一角に位置することもあり、運営推進会議の開催以外で、近隣や地域と関わることが出来ていない。	地域との関わりが増やして行けるよう、今年度中に一つアクションを起こす。	①地域との関わりを増やす取っ掛かりとして、地域に向けた認知症の勉強会の開催を行いたい。その手始めに、次回の家族会で認知症についての勉強会を開催する。	5ヶ月
3	26	介護計画に沿った記録が少ない傾向にある。	介護計画に則ったケアの実施と、その記録が一体となるよう、記録方法の見直しを行い、新たなルールを策定する。	①計画作成担当者がたたき台を作成する。 ②たたき台について全職員で話し合いを行う。 ③計画作成担当者が中心となり、リーダー陣で取りまとめを行う。	6ヶ月
4	1	現在の理念には、認知症の専門事業所としての意識が足りないと感じられる。地域密着型サービスの意義をふまえ、利用者や家族、地域に求められる理想のグループホーム像を目指すべく、認知症の専門事業所としてふさわしい理念に改善したい。	現在の理念を見直し、新たな理念を作成する。	①職員の認知症についての理解を深められるよう、定期勉強会の開催を継続する。②事業所に対して何を望むかを利用者、家族、地域に意見聴取を行う。③全職員で新しい理念についての話し合いを行い、リーダー陣で取りまとめを行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。